

DF技術部会<医療懇話会>

☆懇話会の目的

会員に役立つ最新の医療をわかり易く解説する

☆演題分野

癌治療・救急医療・介護・高齢疾患・特別講演・他

☆講演講師

大学病院及び基幹病院の専門的立場の医師

☆開催月

年間3回(4月、6月、12月)⇒8月、12月

☆参加対象

DF技術部会メンバー(約100名)

☆技術部会

*経済産業懇話会 *リスクセンス研究会

*医療懇話会 *理科実験グループ

☆世話役

・佐藤和恵 ・鶴岡正吉 ・赤堀智行

医療講演テーマ (2016年以降)

救急医療	癌治療	介護関連
救急医療と脳血管障害	消化器疾患と内視鏡	地域包括ケア
救急と延命治療	最新の癌治療(免疫療法)	共生社会
コロナ感染下における医療体制の現状と課題	癌を知る「乳癌」	介護の現状と課題

高齢疾患	DF講演	特別講演
加齢と眼科	痛みーー不思議な感覚	コロナウィルス総論
整形外科疾患	老化とは カカオハスクの抗酸化作用	地域ケアサービスの現状と課題
高齢化と歯科医療	高齢者の健康・経済	
健康に寄与する口腔講座	排尿障害の原因と治療	

2025年問題

* 75歳以上 国民の4人に1人(2200万人↑)

* 問題のポイント [人口と労働力・医療・介護・社会保障費・空き家]

・労働力不足: 約600万(情報通信・卸売・農林水産・運輸・建設・金融不動産)

・医療: 医療・介護サービスの利用急増 ⇒ 病院・医師の減少、医師NSの人手不足
医療保険給付54兆円(日本の現財力では無理)

・介護: 人材(必要人材250万人、確保210万人) ⇒ 介護難民の急増

認知症---高齢者の20% 「介護人材不足」「老老介護」「認認介護」

・社会保障費:

140兆円 受給金額の減少と支給年齢の引き上げ ⇒ 年金制度の破綻か

・空き家:

2017年築50年マンションは5.5万戸、2025年には30万戸 ⇒ 空き家問題

* 対策

・地域包括ケアシステムの導入

・病院から在宅へ

住居・医療・介護・生活支援等をトータルサポートする

今後、訴求すべきテーマ

＜日本の医療問題＞

- * 2025年問題： [労働力・医療・介護・社会保障費・空き家]
- * 医学教育
- * 医療保険制度と診療報酬制度
- * 低医療政策による医療崩壊

＜漢方医学と西洋医学の融合＞

現代医療の漢方医学や漢方薬は、日本の伝統医学として発展した「日本独自の医学」である。
今後は、西洋医学との融合で病態に応じた効果がより期待される

2025年度医療講演

◆8月度 「漢方の世界について」

---漢方の歴史及び西洋医学との違い中心に---

*開催:8月26日(火) 15:00-16:30

*北里大学北里研究所病院

漢方鍼灸治療センター 緒方 千秋先生

◆12月度「からだの科学全般」

からだの不思議---癌、痛み、脳、筋肉

*開催:12月5日(金) 15:00-16:30

*演者:医療懇話会 鶴岡正吉氏

*テーマ:錯覚はなぜ起こる?

講師：緒方千秋先生

- ・ 所属：北里大学北里研究所病院
漢方鍼灸治療センター 薬剤師
- ・ テーマ：漢方の世界
 - ・ 漢方の歴史
 - ・ 漢方と西洋医学の違い
 - ・ 漢方の臨床的有用性
- ・ 各大学薬学部での講義
- ・ 漢方に関わる講演、市民講座等啓蒙活動
- ・ TV、メディア出演